



令和2年2月10日
内閣府（防災担当）

「気候変動×防災」国際シンポジウムの開催について

1. 日時：令和2年3月8日（日） 14：00～17：00
2. 場所：伊藤謝恩ホール
（東京都文京区本郷7-3-1伊藤国際学術研究センター地下2階）
3. 議題：「気候変動×防災」について
（プログラム）
 - ・ 基調講演
水鳥 真美 国連事務総長特別代表（防災担当）及び国連防災機関ヘッド
 - ・ パネルディスカッション
気候変動枠組条約事務局、小島嶼国、学識経験者等
 - ・ 鼎談
武田 良太 内閣府特命担当大臣（防災）（予定）
小泉 進次郎 環境大臣（予定）
水鳥 真美 国連事務総長特別代表（防災担当）及び国連防災機関ヘッド

※登壇者等の予定については変更になる可能性があります。
4. 取材：シンポジウムはフルオープン（カメラ撮り可）。
鼎談後、両大臣及び水鳥特別代表のぶら下がり会見予定。
（時間、場所等の詳細については、後日、登録者にメールでご連絡します）

本件問合せ先：

内閣府政策統括官（防災担当）参事官（普及啓発・連携担当）付

参事官 中尾 晃史

参事官補佐 荒木 愛美子

草刈 健太郎

電話：5253-2111（内線51332、51334）

3502-6983（直通）

別紙 「気候変動×防災」国際シンポジウム概要

○主催

環境省、内閣府、国連防災機関(UNDRR)

○協力

内閣官房、外務省、国土交通省、国連経済社会局(UNDESA)、国連大学サステナビリティ高等研究所(UNU-IAS)、国連気候変動枠組条約(UNFCCC)、国際協力機構(JICA)、国立環境研究所

○定員

400名(参加費無料、事前申込制)

○申込要領

3月2日(月)までに下記ウェブサイト上の登録フォームからお申し込みください。

マスコミ関係の方は、必ず事前に上記申込先まで取材登録をお願いいたします。

参加募集は期限内であっても定員に達し次第締め切らせていただきます。御了承ください。なお、本シンポジウムはペーパーレス対応を行っており、関係資料は、下記ウェブサイトに掲載いたします。

<https://bousai2020.tokyo/>

■注意事項

- ・ 事前登録のない方は、入場できません。

■報道関係者の方へ

- ・ 報道関係者の方は申込みの際に、登録フォームの通信欄に「報道関係者」と記載してください。カメラ撮影を希望の場合は、その旨を記載してください。
- ・ カメラ撮りに際しては、自社腕章を携帯していただくようお願いいたします。
- ・ その他、事務局の指示に従うようお願いいたします。

○開催趣旨

近年、世界各地で気象災害が激甚化しており、日本国内でも台風や豪雨等により大きな被害がもたらされています。今後、気候変動により更に災害リスクが高まると予測されており、気候変動への適応が喫緊の課題となっています。

このような背景を踏まえ、現在・将来の気象災害の激甚化を念頭に気候変動行動と防災のシナジー強化を図るべく、気象災害の現状及び将来予測、気候変動への適応の取組状況から、気候変動行動と防災、SDGsのシナジーの強化を図るため、「気候変動×防災」国際シンポジウムを開催します。

本国際シンポジウムでは、国連防災機関(UNDRR)の水鳥真美特別代表に、防災に係る国際動向を基調講演いただき、その後、関係省庁や国際機関、学識経験者らによるパネルディスカッションを経て、小泉環境大臣、武田内閣府防災担当大臣、及び水鳥特別代表に今後の日本における具体的な取り組みの方向性や国際貢献について議論いただきます。